

農業に
情熱を

Nousouken Corporation

株式会社農業総合研究所

PASSION FOR AGRICULTURE

「おいしい」を待っている
すべての人へ 



及川智正

Passion for Agriculture

農業に情熱を～私たちの合い言葉です～

生産現場から販売現場まで実践した経験を活かし、農業ベンチャー企業「農業総合研究所」を起業しました。農業界には様々な問題があります。その中でまず初めに取り組まなければならないことは、フレキシブルな農業の流通改革です。

最適な情報と物流を組み合わせ、需要と供給のバランスをとっていく、新しい流通プラットフォームが必要不可欠です。そして、農業は食の根幹を担う産業であり、農産物流通は社会インフラです。この重要なライフラインが、永続する仕組みを構築することが、私たちの使命です。

農業界には、明治維新のような大波が押し寄せております。この激動の時代をチャンスと捉え、これからも農業へ情熱を燃やし、生活者に食の豊かさを提供するために私たちは挑戦し続けていきます。

COMPANY HISTORY

会長及川が農業への危機感から、
自ら「生産」現場3年、「販売」現場1年を実践し、
農業は「流通」をコーディネートすることが重要と実感。



- 2007年10月 株式会社農業総合研究所設立
- 2008年 5月 和歌山県紀の川市に初の集荷場「紀の川集荷場」開設
- 2011年 6月 本社を和歌山県和歌山市黒田に移転
- 2012年 7月 東京都品川区に「東京営業所」開設
- 2016年 6月 東京証券取引所マザーズに株式を上場
- 2016年 7月 大阪府摂津市に「摂津センター」開設
- 2016年 8月 大阪府大阪市淀川区に「大阪営業所」開設
- 株式会社世界市場を子会社化（2019年4月 関連会社化）
- 2017年 9月 東京営業所を東京都品川区大井に移転



- 2018年 5月 東京都大田区に「大田センター」開設
- 2018年10月 愛知県名古屋市中村区に「名古屋営業所」開設
- 2019年 3月 愛知県西春日井郡豊山町に「名古屋センター」開設
- 2020年 6月 「東京加工センター」を東京都大田区に移転（開設）
- 2020年 8月 流通総額100億円達成（2020年8月期）
- 2021年 1月 本社を和歌山駅前に移転
- 2021年 5月 兵庫県神戸市灘区に「神戸センター」を開設
- 2021年 9月 和歌山県紀の川市に「和歌山センター」開設
- 2021年12月 富山中央青果株式会社関連会社化（2023年10月売却）

堀内 寛

持続可能な農産業を実現し、
生活者を豊かにする。

生産者と生活者を直接結ぶプラットフォームにとって一番大切なこと、それは安心・安全・新鮮な農産物を生産者の思いと共に丁寧にお届けすることだと思います。作るのも人、食べるのも人、そしてその間をつなぐのも人です。

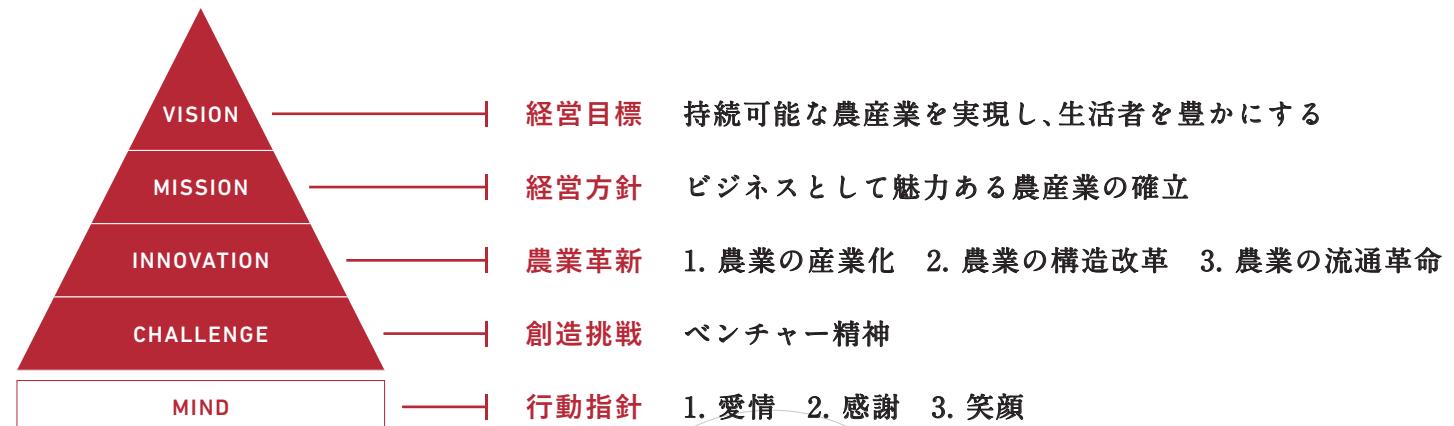
関わる人の思いが双方で伝わり、誰もが喜んで使いたいと思う仕組みを作れば、その仕組みは自然に広がり、現代農業の抱える様々な課題を解決すると共に「持続可能な農産業を実現し、生活者を豊かにする」世界が実現できることでしょう。

生活者、中でも次世代を担う子供達が健康に笑顔で成長できる食を「当たり前に」支え、生産者がやり甲斐を持てるプラットフォームを作り続ける、そんな思いで精進して参ります。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

- 2022年 4月 東京証券取引所のマザーズ市場からグロース市場へ移行
- 2024年 4月 産直事業 累計流通総額50億円達成
- 2024年 5月 累計流通総額1,000億円達成
- 2024年 8月 やさいジョブ株式会社設立（子会社）
- 2024年 12月 月間流通総額15億円達成
- 2025年 7月 「農家の直売所事業」月間流通総額13億円達成
- 2025年 8月 年間流通総額170億円達成



産直流通のリーディングカンパニー | 新しい農産物流通を創造する会社



社名 株式会社農業総合研究所 / Nousouken Corporation

設立 2007年10月25日

代表者 代表取締役会長CEO 及川 智正
代表取締役社長 堀内 寛

本社 和歌山県和歌山市黒田99-12 寺本ビルII 4F

資本金 581百万円 (資本準備金含む)

業績 売上高 : 8,358百万円 (2025年8月期)
流通総額 : 17,233百万円 (2025年8月期)

従業員数 292名 (役員・パート含む)※

主な事業内容 農家の直売所事業・産直事業

事業所 営業所:「東京営業所」「大阪営業所」「名古屋営業所」
集荷場:全国78拠点* / 物流センター:5拠点*

登録生産者数 10,419名*

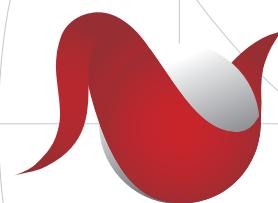
販売拠点 全国スーパー・マーケット:国内2,246店舗*

子会社 やさいジョブ株式会社

関連会社 株式会社世界市場 / NIPPON ICHIBA Hong Kong Limited

NIPPON ICHIBA Taiwan Company Limited

株式会社コールドチェーン情報開発センター



Nousouken
Corporation

※2025年8月時点



わたしたちが
大切にしていること



食べる人が大切。

実際に商品を確認し、
鮮度を保つため最短で届けます。

作る人が大切。

実際に会って、生産者、農場を確認しています。

伝えることが大切。

生活者へ「こだわり」を
生産者へ「ありがとう」を届けます。

健康が大切。

農薬をデジタル管理し、
定期的に残留農薬検査を実施しています。

応援が大切。

国産野菜を食べることが、農業の発展につながります。

直接、生産者にお会いして
安全性と品質を確かめています。

スーパー マーケットでの
農家直送商品の提供

直売コーナー「農家の直売所」

[設置から商品供給まで]



青果売場

[卸売商品の提案]



事業フロー

生産者と生活者をつなぐ透明性の高いシステム
当社「農直」システムを活用したビジネスモデル。

生産者

[生産]

農産物の
生産・出荷

当社

[集荷拠点]

集荷・物流

スーパー

[販売]

直売コーナー
青果売場

生活者

[食卓]

100% 農直



直売コーナー

「農家の直売所」の流れ



1 集荷場に商品を持ち込む



2 タブレットに商品・店舗・価格を入力



3 専用バーコードシールを発券



4 袋詰めした商品に専用バーコードシールを貼る



5 出荷したい店舗の前に商品を置く



6 最短翌朝には店舗に陳列される

農産物流通の比較

当社が展開する「農家の直売所」は、これまでの既存流通と比較して、鮮度が高い農産物を提供できることだけでなく、生産者にとっても高い収益性で販売することができます。また、道の駅より多くの農産物を流通させることができます。

※市場を経由した流通





農総研が行う ブランディングとは

生産者がどんな農産物を、
どこで、
どんな想いを持ち、
どんな風に作り、
どのように食べるとおいしいのか
という情報を見える形で
生活者に伝えます。

生産者も気づいていない商品の情報・魅力を取材で浮き彫りにし、「一番何を売りにするのか」を分析。

パッケージデザイン、POPを作成し、その付加価値をわかりやすく売場で伝えます。

商品によっては、パッケージやPOPにQRコードを掲載、

取材した生産者の畑情報や生産者レシピを閲覧することができます。

また、商品のネーミングを考える場合もあります。

生産者、JA、そして市場のブランドも大切にします。

□ POP



□ パッケージ



□ レシピ・畑の情報

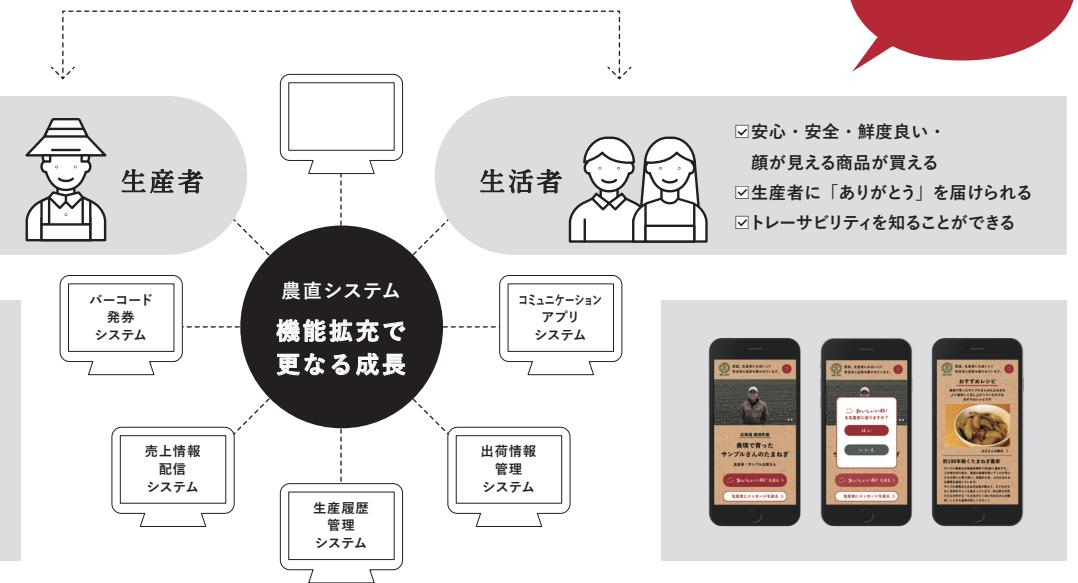




情報プラットフォーム「農直システム」

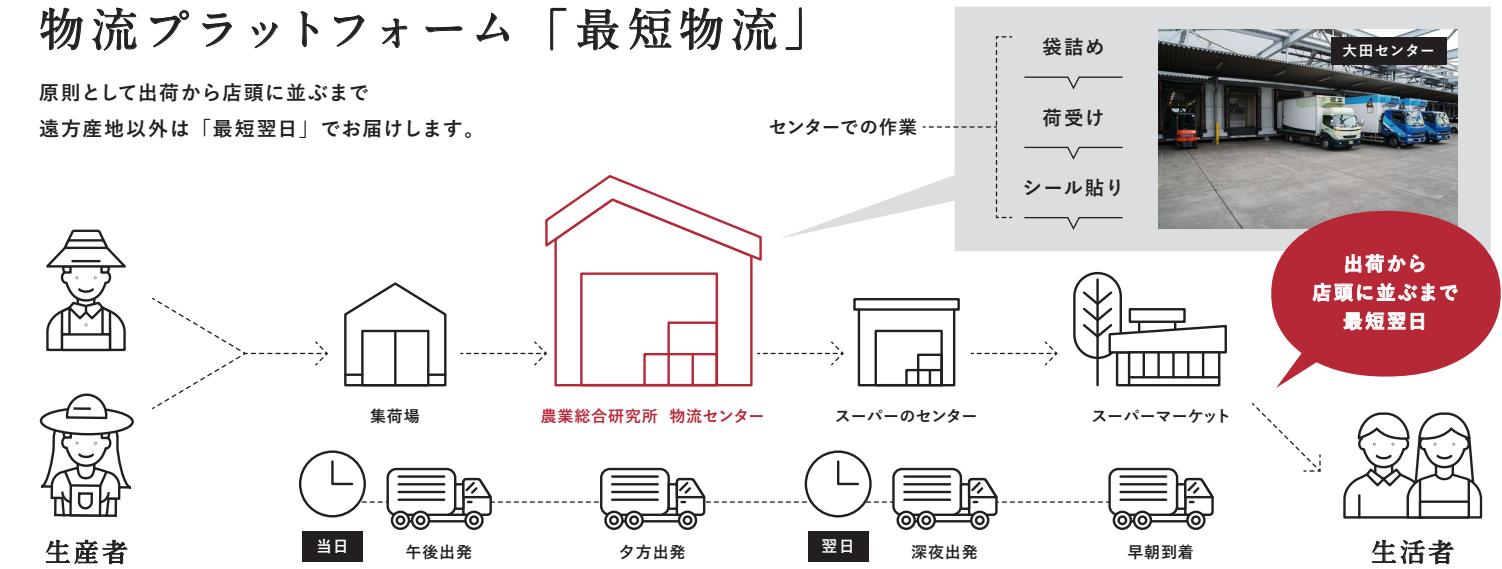
生産者と生活者をつなぐ、
透明性の高い農産物流通システムです。

- ☑データ活用による儲かる仕組み
- ☑手数料・収益性が明瞭
- ☑生活者からの反応をダイレクトに受取れる



物流プラットフォーム「最短物流」

原則として出荷から店頭に並ぶまで
遠方産地以外は「最短翌日」でお届けします。





全国の集荷拠点

物流センターを結んだ

最短物流で、

全国を繋ぐネットワーク 「集荷拠点と物流センター」

全国 78 カ所の集荷拠点と物流センター 5 拠点を
ダイレクトに結び、最短物流を実現した
農産物流通プラットフォームを提供。

※センター 1ヶ所含む

センター

集荷場

【北海道】芽室、新千歳空港、旭川空港、夕張郡
【新潟】新潟、豊栄
【富山】富山、アルビス黒部店
【茨城】鉾田、石岡、筑西、つくば西高野
【栃木】宇都宮
【千葉】富里、旭、匝瑳、香取、柏
【神奈川】湘南、秦野
【埼玉】深谷、児玉、桶川

【静岡】浜松、焼津
【山梨】笛吹、北杜
【長野】松本、安曇野、諏訪、辰野駅
【愛知】稻沢下津、豊橋、豊川、稻沢一色
【奈良】五條
【滋賀】野洲
【京都】与謝野第二、南丹
【大阪】貝塚二色浜
【和歌山】紀の川、和歌山、橋本、印南、有田、美浜
【兵庫】たつの、三木、南あわじ、丹波
豊岡、淡路第二、神戸

【広島】大崎上島、世羅
【香川】高瀬、南高松、豊浜
【徳島】小松島、一宮
【高知】高知東、土佐山田、土佐、安芸、東洋
【愛媛】丹原、松山西、堀江、西予
【鳥取】日吉津
【島根】出雲
【長崎】なかよし村有喜店、エレナ西海店、エレナ島原栄町店

センター 【北海道】札幌 【東京】大田 【愛知】名古屋 【兵庫】神戸 【和歌山】和歌山

〈2025年8月末時点〉

わたくしたち農業総合研究所は、

直接、生産者にお会いして、

農産物の安全性と品質を確かめて、

生産者と生活者をつなぐ農直システムと

全国の集荷拠点、物流センターを結んだ最短物流で、

生活者に「おいしい」をお届けします。



株式会社農業総合研究所

□和歌山本社

〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田99-12 寺本ビルII 4F
TEL. 073-497-7077 FAX. 073-497-7013

□東京営業所

〒140-0014 東京都品川区大井1-47-1 NTビル8F
TEL. 03-6417-1047 FAX. 03-6417-1048

□大阪営業所

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-12-12 大阪太平ビル9F
TEL. 06-4862-6815 FAX. 06-4862-6816

□名古屋営業所

〒460-0007
愛知県名古屋市中区新栄2丁目1-4
アソルティ新栄10C